

教職員向け  
電子メールソフトウェア (Thunderbird)の  
送信設定変更手順

NTT 東日本

2023/8/25

## ■目次

### 目次

1. はじめに .....	3
2. 教職員用: Thunderbird メールの送信設定【Thunderbird の設定を変更する場合】 .....	3
3. セキュリティ例外の通知について .....	5

## 1. はじめに

本書は、電子メールソフトウェア Thunderbird を使用している教職員を対象にしており、2023年9月13日に実施する学術情報基盤システム（メールシステム）の切り替え以降、電子メールソフトウェア Thunderbird にて、メール送信時の認証方法を設定変更する手順書です。

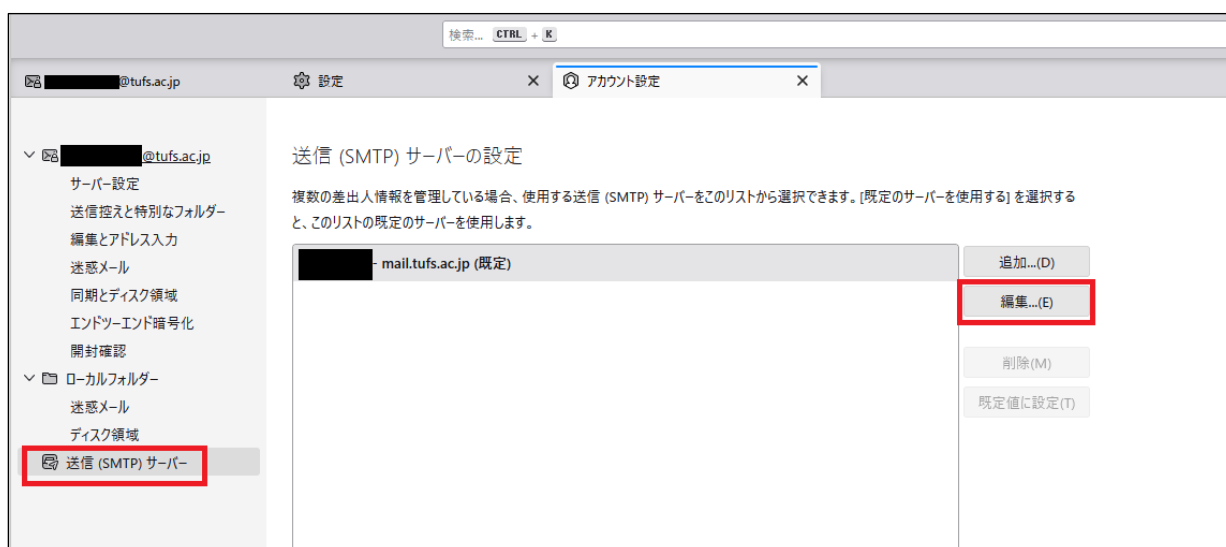
## 2. 教職員用: Thunderbird メールの送信設定【Thunderbird の設定を変更する場合】

- Thunderbird を起動後、メールアドレスの上で右クリックし、表示されるメニューの中から「設定」を選択する。

- メール送信設定

「アカウント設定」の画面が表示されるため、「送信(SMTP)サーバー」を選択し、メインウィンドウを「送信(SMTP)サーバー」に変更する。

画面中央の枠の中から確認・変更したい設定を選択して、[編集]をクリックする。



「送信(SMTP)サーバー」のウィンドウが表示されるので、以下のように設定する。

送信 (SMTP) サーバー

設定

説明:(D)

サーバー名:(S)  mail.tufs.ac.jp

ポート番号:(P)  既定値:587

587

セキュリティと認証

接続の保護:(N)

認証方式:(I)

ユーザー名:(M)

OK キャンセル

サーバー名 : mail.tufs.ac.jp  
ポート番号 : 587  
接続の保護 : STARTTLS  
認証方式 : 通常のパスワード認証  
ユーザー名 : ユーザーID

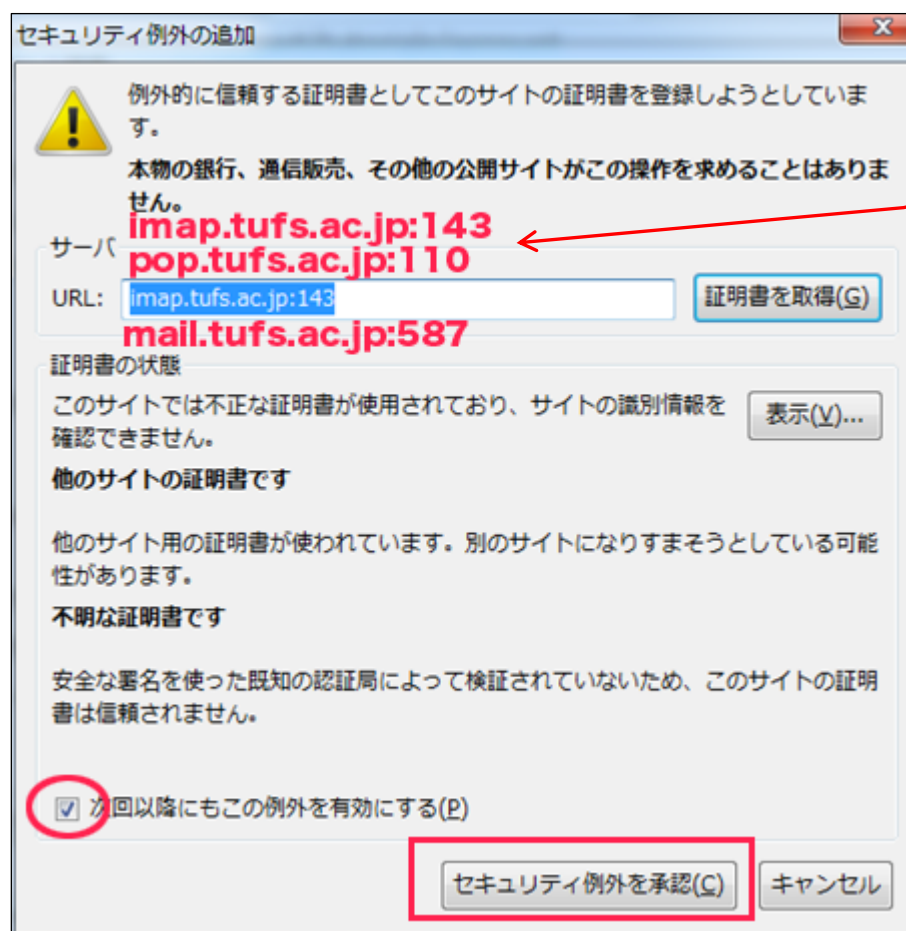
### 3. セキュリティ例外の通知について

お使いの環境によって、Thunderbird でのメールの受信(POP/IMAP)、送信(SMTP)時に、以下の画面「セキュリティ例外の追加」が表示される場合があります。

メールの受信において、POP 使用時は、サーバ名「pop.tufs.ac.jp:110」について「セキュリティ例外の追加」が表示されることがあり、IMAP 使用時は、サーバ名「imap.tufs.ac.jp:143」について「セキュリティ例外の追加」が表示されることがあります。

また、メールの送信時に、サーバ名「mail.tufs.ac.jp:587」について、「セキュリティ例外の追加」が表示されることがあります。

これは偽の証明書ではありませんので、「次回以降にもこの例外を有効にする」をチェックの上、「セキュリティの例外を承認」を押すことで、次回から表示されなくなります。



3 パターンあります。

- ① pop.tufs.ac.jp:110
- ② imap.tufs.ac.jp:143
- ③ mail.tufs.ac.jp:587